

シルバー きたもと

第53号

令和4年1月発行

公益社団法人

北本市シルバー人材センター

〒364-0013

埼玉県北本市中丸 10-55

電話 048-592-4300

FAX 048-593-2759

<https://webc.sjc.ne.jp/kitamoto/>

会員 398名(男 257名・女 141名)
(令和3年11月30日現在)



農園体験 (さつまいも掘り：撮影 広報部会)

もくじ



新年の挨拶 (理事長・北本市長)	2
就業会員の声 (リフォーム班・植木班)	3
高齢者の交通安全	4
会員の事故発生状況	4
賛助会員紹介 りんどうの会	5
普及啓発パネル展 農園体験	6
ぴかぴか運動紹介 家事援助班	6
健康増進センターからのお知らせ	7
シルバーギャラリー・川柳 編集後記	8



北本市長 三宮 幸雄

新年のご挨拶

令和4年



理事長 関口 明

新年おめでとうございます。
会員の皆様には、穏やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

こうしたご祝詞を申し上げますと「何を呑気なことを」とお思いの方もいらっしゃるかもしれませんが。昨年一年も「新型コロナウイルス」との闘いの年でした。

昨年5月より私達高齢者から始まったワクチン接種は、10月下旬には市内接種率が70%を超えたことにより急激に感染者数は減少しました。

また、昨年は延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックが開催となりました。鴻巣・北本間で行われた聖火リレーは、小雨交じりの肌寒い日でしたが、無事に開催されました。役員とし

明けておめでとうございます。

北本市シルバー人材センターの会員の皆様並びに関係者の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より市政に対しまして、格別の御理解、御協力を賜り、敬意と感謝の意を表します。

さて、我が国の総人口は減少過程に入中、65歳以上人口は増加傾向が続いており、本市の高齢化率は全国水準をすでに上回り、今後もさらに高まることが予測されています。

こうした中、高齢者が役割と生きがいを持ち、充実した生活を送ることができる生涯現役社会を実現するため、働きたいと願う高齢者の就業を促

て参加された皆様のご功労に敬意を表します。

新型コロナウイルスにより、大きく変動した経済状況は、会員の皆様の就業にも大きな影響がありました。このような状況の中、ご尽力、ご協力を賜りました皆様には、改めて御礼を申し上げますと存じます。本年は、新型コロナウイルスの感染が収束し、会員の皆様と明るい話題を共有し、幅広く活動できる事を願うばかりです。

また本年は、新たな事務所への移転を計画しております。現在、候補地を選定しているところであります。決まり次第「事務局だより」等でお知らせします。

結びになりますが、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、年頭の挨拶といたします。

進していくことが重要となります。

シルバー人材センターは、高齢者が地域で働くことを通じて、活力のある高齢社会、地域社会づくりに貢献するとともに、高齢者が健康で生きがいのある生活ができることを目的としており、皆様の活動は、就業を通じた社会参加であり、地域社会の期待は一層重要なものとなっております。これからも、皆様の働く意欲が活かされるように支援してまいります。

新型コロナウイルスの影響等により、大きな変革期の中ではありますが、会員の皆様がこれからも健康で元気に活動を継続されますことを心より御祈念申し上げます。

就業会員の声

リフォーム班

山中 修

リフォーム班での仕事を始めて8年目、最初は先輩の指導を受け、見様見真似で夢中で作業をしていました。

リフォームの仕事は多種多様です。家具や扉、ウッドデッキ、庇、小屋の製作、波板の交換、フローリングの張替え、軒天の修理や塗装工事など多岐にわたります。

お客様の要望をよく聞き、材料や工法を検討し、必要なものは図面を書いて材料を手配してから作業にかかります。



そのために、日頃から自分の技術向上を心がけ、材料や道具の知識を得たり、建築現場などで本職の皆さんの仕事を眺めたりしながら知識を得たりしています。

自分で納得のいく仕事が出来た時は、お客様の感謝の言葉と同時にやり甲斐も感じます。

また、屋根の上や天井裏を覗いたり床下に潜るような作業もたまにはありますが、毎日異なる作業で興味がつきません。プロの出来ばえと比較される時もありますが、そんな言葉がやる気を誘います。

皆さん、リフォーム班で仕事をしませんか？



植木班

大島 優

定年退職後、ヒヨんなことから埼玉県立熊谷高等技術専門校造園科(以下、熊専)に学び、その後北本市シルバー人材センターに入会し植木班で就業しています。お客様宅の植木剪定が主な仕事です。

振り返れば仕事を始めて14年にもなります。危険を伴う作業ですが、大きな怪我もなく続けていられるのは、仲間との共働・共助のお陰と感謝しています。

これといった趣味もない私なので、樹木をサッパリさせることでささやかながら達成感、充実感を楽しんでいます。その上、お客様から「スッキリしたね」「次も頼むよ」などと言われると悪い気はせず、「こちらこそよろしく」と

応じてしまいます。そんな日の晩酌はいつもより美味しい気がします。

植木班には枝処理グループがあり剪定後の枝葉を回収し埼玉中部環境センターに搬入処理をするという作業で班を支えてくれています。ここで改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。

終わりに熊専修了生造園協力会の理念を引用させていただき原点を見つめ直したい。「樹を慈しみ、庭を愛し、仕事を楽しむ」



高齢者の交通安全



安全管理委員長
林 正美

警察庁交通局によると令和 2 年の全国における交通事故死者数は約 3 千人で近年減少傾向にあるものの、65 歳以上の高齢者が占める割合は 56.2% と半数を超えています。

また、全国のシルバー人材センターにおいても、令和 2 年度の就業途上の重篤事故は徒歩 7 件、自転車 6 件、バイク 1 件、自動車 1 件となっております。当センターでも平成 30 年にバイク 1 件の事故が発生しています。就業途上の事故は必ずしも本人に過失責任があるとは言えない事故もありますが、自転車の事故の多くは左側通行・一時停止を守ることでの防げ、徒歩においては交差点においては無理をせず、また自動車事故においては安全確認を徹底することで防げるという調査結果もあります。

◆高齢運転者の交通事故の違反理由

- ① 安全不確認 38.2%
 - ② 交差点安全進行 17.3%
 - ③ 前方不注意 11.9%
 - ④ ハンドル・ブレーキ操作不適 6.2%
 - ⑤ その他 26.5%
- 違反理由の三分の一以上が安全不確認です。

◆高齢運転者の交通事故の人的要因

- ① 発見の遅れ 82.6%
 - ② 判断の誤り等 9.6%
 - ③ 操作上の誤り 7.4%
 - ④ 調査不能 0.4%
- 80%以上が発見の遅れで主な原因です。

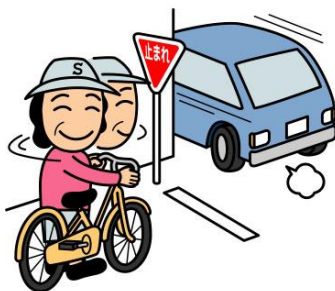
高齢になると、瞬時的判断能力の低下、反応時間の遅れ、動体視力の衰え、注意力・集中力の低下等、自分にとっては安全運転を心がけても客観的には相手を発見するのに十分でない場合が少なくありません。

(参考：警視庁ウェブサイトより)

◆高齢運転者による交通事故対策

高齢者が交通事故を防ぐには、まず運転に必要な能力が衰えている可能性があることを自覚して運転することが大切です。交差点や駐車場など車の周囲を警戒する、状況に応じて徐行するなどの対策があげられます。また交通安全のための講習などを定期的に受けて、自分の運転能力の変化をチェックすることが重要です。

当センターとしてもコロナ禍で昨年、一昨年と実施できませんでした。自乗車・自動車講習会を実施し、交差点を遵守し安全意識を徹底して安全就業を図る意向です。



～令和 3 年度 会員の事故発生状況～

(11 月末現在)

発生月	性別	状況	業種	事故の概要	負傷部位等	
1	6 月	男	就業中	除草	軽ダンプのフロントガラスを破損した。	(物損)
2	6 月	男	就業中	植木	枝処理作業のため、車を塀際に寄せる際に軽ダンプが門柱に接触、最上部を破損した。	(物損)
3	8 月	男	就業中	除草	垣根の剪定作業中にバリカンで電線を切断した。	(物損)
4	10 月	男	就業中	除草	草刈り作業中に刈払機で浄化槽の配線を切断した。	(物損)

賛助会員のご紹介

(令和3年11月現在)

安養院	いこいの家	(株)イー・アンド・デイ	(有)小澤紙工	(株)来本化工	北本第一クリニク	埼玉陸送(有)	福祉車両シンエツ	東彩ガス(株)	(株)高脇基礎工事	テラルクリタ(株)	榎原医院	萬歳工業(株)	プラザオオノ(有)	(株)平和アルミ製作所	北本みなみ幼稚園	みなみ絵本のこども園	(株)矢口造園	(有)広川製作所	横山農園	(有)たかはし	いしと幼稚園	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
ミナミ歯科医院	大島歯科医院	(有)センター印刷	(有)福島土建	北本リサイクル事業	協同組合	鈴木医院	萩原歯科医院	こころと歯科医院	あさひ庵	(有)しんごや石油	(株)プロパックス	ガーデンオーツカ	(有)天沼建設	(株)丸山電化サービス	きたもと寿苑	(株)あらい屋	(株)アライ	滝瀬建材工業(株)	(株)ワタナベ	(株)シーガエム	三栄管理興業(株)	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

(順不同)

新型コロナウイルス感染拡大という厳しい経済状況のなか本年度も賛助会員として、力強いご賛同をいただきました。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



りんどうの会

りんどうの会は、シルバーの女性会員の会です。①今後、やって欲しいこと ②教えて下さる方 ③その他何でもご意見お待ちしています。みなさんで盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



活動報告

- 6/13 (日) 寄せ植え講習会
- 7/10 (土) 写経講座
- 11/24 (水) マスクカバー作り
- 12/27 (月) 生け花講座 (フラワーアレンジメント)



募集

- 1/8 (土) から毎週土曜日 午前10時～
イキイキとまちゃん体操 (会場 中丸公民館)
- 1/19 (水) 午前10時～
写経講座 (会場 中丸公民館)
- 3月予定 粘土人形講座

☎シルバー人材センター事務所までお申込ください。



写経講座



寄せ植え講習会

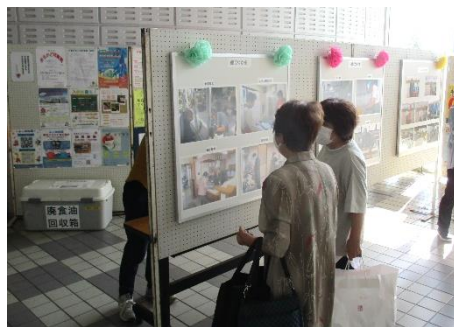
農園体験

10 月 28 日 (木) に、中丸東小学校 1・2 年生の児童 62 名が、シルバーいきいき農園で、さつまいも掘りを体験しました。



文化センターエントランスで 普及啓発パネル展

毎年 10 月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」です。今年度は、10 月 4 日(月)~6 日(水)に文化センターエントランスにてパネル展を開催しました。文化センターの催事参加者や図書館利用者等、多くの方にご覧いただきました。



家事援助班



11 月 17 日 (水) 文化センターにおいて 2 年ぶりに家事援助班の懇談会が行われました。家事援助サービスについての確認や、「フレイル予防体操」で体をほぐすなど新型コロナウイルスの感染に注意しながら和気あいあいとした時間を過ごしました。



ぴかぴか運動紹介

中央地域班

日 時：11 月 6 日 (土)

AM8:30~

場 所：北本 1 丁目

さくら公園

活動日：年 4 回 (不定期)





健康増進センターからのお知らせ



あけましておめでとうございます

高齢者専用の公共施設として楽しくご利用頂き、ありがとうございます。8月には館内カーペットの張り替え工事を行い、清潔で明るくなりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、再び休館といたしました。

また、一度は開館しましたが、10月29日(金)より施設設備の故障による修復工事のため、当面の間休館いたしております。利用者の安全確保のため、ご理解とご協力の程お願いいたします。再開の時期については修復工事が終わり次第、すみやかに開館する予定ですが、詳しくは北本市シルバー人材センターのホームページなどご案内いたします。

なお、野外施設(野外ゲートボール場・多目的広場)は開放しております。

今後も施設の運営については、新型コロナウイルスの感染状況や工事の進捗状況を考慮するとともに、行政と協議しながら取り組んでまいります。

これからも健康で楽しい講習会等を実施してまいりますので、皆様方のご利用をお待ちしております。



今後の開催(募集予定)教室等

1/ 5~3/23 (毎水曜日)

第Ⅲ期 健康ゆる体操

第Ⅲ期 はつらつ健康体操

1/ 6~3/16 (毎木曜日)

第Ⅲ期 フレイル予防教室

1/ 7~28 (毎金曜日)

音楽健康体操教室

1/11~25 (毎火曜日)

折り紙教室(3回コース)

1/18(火)切り絵教室

2/15(火)認知症予防教室

2/18(金)折り紙教室

詳しい申込み方法は健康増進センターへお問い合わせください。☎591-8251



ご利用時のお願い

- ・マスクの着用
- ・手指消毒と検温の実施
- ・氏名と連絡先の確認
- ・「3密防止」のため人数制限あり

★皆様のご理解とご協力を
お願いいたします。

シルバーギャラリー・川柳

健康増進センターでは短歌・俳句・川柳・絵手紙・写真・書道・手芸・スケッチ等展示する作品を随時募集していますのでぜひお持ちください。展示作品の中からシルバーきたもと第54号以降に掲載させていただきます。



五重の塔と舞妓
(切り絵)
矢部 紀明



楽しい仲間
(ニードルフェルト)
滝瀬 喜一



猫
(鉛筆画)
加藤 美子



旧渋沢邸「中の家」
(写真)
明田 雅好

編集後記

新年おめでとうございます。

長引くコロナ禍に運動する機会も減り、心まで縮こまってしまいそうでしたが、感染者数も一旦は減少傾向にあり、良いきざしが見えて来ました。子供達の農園体験「さつまいも掘り」が実施され笑い声が聞こえて来るようです。新型コロナウイルスに負けず良い年になりますようにお祈り申し上げます。

広報部会では、親しまれる内容へと編集に努めてまいります。積極的なご意見・ご寄稿をいただけますよう、ご協力をお願いいたします。



広報部会員一同



ごめんと 勇気を出した方が勝ち

山崎 政登



春の訪れ
(ソープカービング)
植松 陽子